

日本史研究推進委員会 共同研究「中世の神奈川の教材化」経過報告

元石川高校 長島 一浩

日本史研究推進委員会は、例会を原則毎月一回、委員の勤務校等諸施設にて開催し、研究報告、学習会、および活動の審議・報告や情報交換を実施、その他、夏季・冬季の巡検、日本史サマーセミナーを行っています。各委員の研究成果については、年間の各研究大会にて発表を行います。学習会は随時設定のテーマの他、山川出版社・日本史リブレットを使用し、毎回レポーターを設定して詳細な内容報告と、それについての活発な議論を行っています。通年テーマの「神奈川の教材化」をふまえて、加えて、多様な視点と、最新の研究成果を取り入れ、日常の授業実践に直ぐにでも使える教材研究を意図しています。

若い世代の委員も増え、活動の活性化も期待されます。当委員会の活動に興味・関心のある方は、是非、お気軽にお問い合わせ、ご参加くださるようお願いいたします。なお、今年度のテーマは、「近世の神奈川の教材化」（予定）です。

月例会 2015(平成27)年度実施の会場(研究報告・学習会内容)

- ・5月 生田高校（「北条高時・金沢貞顕」の研究）
- ・6月 柏陽高校（「足利義満」の研究）
- ・9月 神奈川工業高校（「源義家」の研究）
- ・10月 光陵高校（織田信長研究の最前線①）
- ・11月 鎌倉国宝館（展示見学）、鎌倉学園高校
- ・12月 湘南高校（黒羽清隆の歴史教育について）
- ・1月 柏陽高校（織田信長研究の最前線②）
- ・3月 柏陽高校（織田信長研究の最前線③）

研究発表

- ・春季研究発表大会（3月10日） 「織田信長研究の最前線—長篠合戦図屏風を通して」
高橋 俊介（座間総合高校） 長島 一浩（元石川高校）

日本史サマーセミナー ※大学教員・歴史教育者による日本近代史の授業、詳細は別項参照。

今年度は、8月19・20日の両日、以下のテーマで実施されました。

- ・大正デモクラシーはなぜ、戦争を防げなかったか 成田 龍一（日本女子大学）
- ・民衆は、どのようにして兵士になるのか？ 大串 潤次（信州大学）
- ・近代国家を創る岩倉使節団がもたらしたもの 児玉 祥一（同志社大学）
- ・糸の近代史 矢野 慎一（柏陽高校）

巡検

- ・夏季（8月10日） 茅ヶ崎市・寒川町方面
矢野慎一（柏陽高校）の案内にて、旧相模川橋脚・鶴嶺八幡宮・龍前院・浄見寺・下寺尾官衙遺跡群・寒川神社・相模海軍工廠を、酷暑と午後“スクール”の中、踏査・見学しました。
- ・冬季（1月5日） 逗子市・葉山町方面
加藤将（神奈川工業高校）の案内にて、池子遺跡群資料館・長柄桜山古墳群・逗子市郷土資料館・旧伏見宮別邸・旧別荘街（一色・堀内地区）・日影茶屋を、年頭の潮風の中、踏査・見学しました。

末筆ながら、会場をご提供頂いた各校、および、巡検・見学等でお世話になりました関係各位に、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。